

細川地区
市政懇談会資料
(書面回答)

地区からの意見・提言(書面回答)

細川地区

	意見・提言の内容	書面回答
1	老人クラブのあり方について	福祉課
2	三木市都市計画マスタープランの進捗状況について	都市政策課

市政懇談会 書面回答

地区名	細川地区	
意見・提言等	1	老人クラブのあり方について(区長協議会)
<p>(内容)</p> <p>細川地区老人クラブが市老連から休会している件について、行政の対策・支援を依頼いたします。</p> <p>老人クラブは、高齢者が集まり交流や活動を行う場で、高齢者の健康維持や生きがいづくりに大いに期待される組織です。</p> <p>しかし、本年度細川地区老人クラブは、市老連から休会することになりました。</p> <p>その原因として、会員の更なる高齢化、高齢化による活動意欲の低下や組織運営の困難さ、新興住宅地域と農村地域と同じ水準の活動を求められる等が挙げられます。</p> <p>農繁期を抱える当地区の高齢者にとっては、連合老人クラブへの活動参加は大きな負担となっており、役員の手も拒否傾向となり運営そのものが困難となったと聞いています。</p> <p>このような状況下で、細川地区では、スポーツクラブ21細川・J A兵庫みらい・藤原惺窩奉讃会協賛のグランドゴルフ大会を開催し、細川地区高齢者の交流を図り、高齢者の声を吸い上げる試みを実施しているところですが、市老連への活動再開には行政の支援が必要と考えます。具体的には次の対策が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 市老連の活動見直しや出役の軽減・運営補助 - 地域性を考慮した老人クラブ連合会活動の展開 - 会計・事務補助等をサポートする事務局の設置 - 継続的な老人クラブ連合会の情報提供 <p>これらの対策を講じても、コロナ禍明けで且つかねてより規模縮小していた細川地区老人クラブが市老連活動を再開するに至るとは断言できませんが、少なくとも第2・第3の細川地区老人クラブの発生は防ぐことが出来ると考えます。</p>		

当地区以外でも同様の問題を抱えている地域もあるかと思えます。何卒、ご検討のほどよろしくお願い申し上げます。

回 答

(担当課) 健康福祉部 福祉課

老人クラブは、概ね60歳以上の方を対象とした地域を基盤とする高齢者の自主的な組織で、高齢期を楽しく、生きがいをもって、安心して暮らしていくために、「健康・友愛・奉仕」の活動を全国三大運動として、明るく、豊かで活力のある超高齢化社会の実現に向けて、取り組んでいただいているところです。

その構成としては、地域ごとの老人クラブ（単位老人クラブ）を核に、市、県、全国の段階で老人クラブ連合会が組織されており、市の関わりとしては、地域を支える大切な構成員である単位老人クラブの活動に対し、県に随伴する形で、活動に必要な経費の一部を補助しています。

本市としては、北播磨管内で最も手厚く老人クラブの活動に補助していますが、老人クラブが全国的に減少傾向にある中で、本市においても休会、解散などによりクラブ数や加入者数が減少している状況であり、このたび、令和5年度から細川地区老人クラブの運営が困難になり、三木市老人クラブ連合会を休会されたことは非常に残念に思っております。

しかしながら、単位老人クラブやその構成員から組織されている三木市老人クラブ連合会は、あくまで自主的な組織であり、市がその活動方針に口をはさんだり、組織間の協議に仲介することは適当ではありません。

三木市老人クラブ連合会を休会されながらも、引き続き、高齢者の交流を図り、地域の高齢者の声を吸い上げる試みなどを実施されていることには感謝申し上げますが、三木市老人クラブ連合会における活動を再開するために必要な調整については、まずは当事者間で話し合いいただきますようよろしくお願いします。

なお、その話し合いをされる際には、市もその場に同席するなど必要な協力はさせていただきます。

市政懇談会 書面回答

地区名	細川地区	
意見・提言等	2	三木市都市計画マスタープランの進捗状況について（区長協議会）
<p>(内容)</p> <p>平成31年3月に「三木市都市計画マスタープラン」が策定されました。</p> <p>「三木市都市計画マスタープラン」において示された「細川地域まちづくり方針図」に①～⑩の10の方針が示されています。</p> <p>その進捗状況に違いはあるものの、三木市として取組がされていることがわかります。</p> <p>以下の3点</p> <p>①土地利用の方針 非線引き都市計画区域への編入の検討</p> <p>④細川町谷口から口吉川町桃坂までのバイパスの検討</p> <p>⑨ネスタリゾートと連携した観光拠点の形成を図る</p> <p>について、進捗状況がわかりにくいので、現在の計画や進捗状況について教えていただきたい。</p>		
回答	(担当課) 都市整備部 都市政策課	
<p>1つ目の「土地利用の方針 非線引き都市計画区域への編入の検討」につきましては、現時点において、開発圧力が低いことから、非線引き都市計画区域への編入は必要ないと考えており、今後、社会経済情勢の変化で開発圧力が高まるなどした段階で、地域の方の意見を十分にお聞きしながら検討をしたいと考えています。</p> <p>2つ目の「細川町谷口から口吉川町桃坂までの谷口桃坂バイパスの検討」につきましては、まだ構想段階であり、現時点において具体の検討は進んでおりません。本来、兵庫県が検討すべきですが、市としても必要と考え、「三木市都市計画マスタープラン」の検討対象路線に位置付けています。引き続き、他の道路事業の進捗状況や事業効果を検証し、整備の必要性について、兵庫県と共に検討してまいります。</p> <p>現在は、県に、本バイパスと接続される桃坂交差点より北側の桃坂バイパスについて、整備いただいているところで、市としては、桃坂バイパスの早期完成に向けて、強く要望しているところです。</p> <p>3つ目の「ネスタリゾートと連携した観光拠点の形成を図る」に</p>		

つきましては、当施設は、市外はもとより県外からも多数来場されている施設であり、本市で一番来場者が多い施設であります。

このことから、ネスタリゾート神戸の来場者が市内の観光地などを回遊できる仕組みを構築できればと考えています。

現在は、ネスタリゾート神戸施設内に三木市観光ブースを設置し、イベントや観光、ふるさと納税に係る情報発信を行い、本市のことを知っていただき、より多くの方が市内観光に訪れていただけるよう努めております。

今後もネスタリゾート神戸担当者と連携し、交流人口の更なる確保を目指してまいります。